

政策としての国際文化交流

異文化研究交流センター (IREC) では、この秋に連続講演会を開催します。

第1回は「政策としての国際文化交流」と題して、国際交流基金の小川忠氏をお招きし、国際文化交流の担当者としての経験を踏まえ、大学などに今後期待される国際文化交流についてお話いただきます。

インドネシアとインドに駐在経験のある小川氏は、同基金の文化交流事業の担当者として豊富な実績をお持ちの一方で、現代アジアの国民意識の形成や、文化、宗教、社会の動向についても強い関心を寄せておられます。

国際文化交流やアジア太平洋地域の文化、宗教、社会にかんする問題に関心のある学生・教職員のみなさん、ぜひおこしください。

日時	2009年10月19日(月) 3時～5時
場所	大会議室 (国際文化学部E棟4階)
入場	無料 (申し込み不要)

講師 小川忠氏

(国際交流基金、日米センター事務局長兼日本研究・知的交流部長)

講師略歴

1982年に国際交流基金入社。ジャカルタ日本文化センター駐在員(1989-1993)、ニューデリー事務所長(1998-2001)を歴任。

現在は同基金日米センター事務局長(2007-)と日本研究・知的交流部長(2008-)を兼任。早稲田大学大学院アジア太平洋研究学科、青山学院大学国際政治経済学部非常勤講師。

著書に『インドネシア 多民族国家の模索』(岩波新書、1993年)、『ヒンドゥー・ナショナリズムの台頭』(NTT出版、2000年)、『テロと救済の原理主義』(新潮選書、2007年)、『パブリック・ディプロマシー「世論の時代」の外交戦略』(PHP 総合研究所、2007年 [共著]) などがある。

第2回講演会
11月13日

演題：「日本と中東との相互理解に貢献するビジネス・モデルの展望」

講師：澤口謙一氏 (中東協力センター・シニア研究員)

日時：11月13日(金) 午後3時～5時 (於、大会議室)



神戸大学大学院国際文化学研究科 異文化研究交流センター
078-803-7650 irec@ccs-srv.cla.kobe-u.ac.jp
<http://web.cla.kobe-u.ac.jp/group/IREC>